

日時：2005年10月18日（火）19:00～

講師：山本 学 Exlayer Limited Director

タイトル：IT万屋の役立つ話

（1）新しい参加者の紹介

Ms せい子さん 大学院生 イギリスに2004年8月より

Mr 内場さん JETRO

Ms ミミさん Oxfordから Japanese-Connection

Ms 榎本さん オペラ歌手

Ms サリバンさん IT関係で起業している

Mr 小西さん 上智大学ソフィア会 金融→ファッション/インテリア

Ms さん 主婦 小さくいろいろしている

（2）講義

Exlayer—日経IT会社 2000年にテレコメットにいたメンバーがスピンアウトした会社
山本さん—KDD（電話関係）→テレコメット（98年よりロンドン駐在）メールシステム導
入など→Exlayerにジョイン。

コンテンツ：

- 1 Exlayerの成り立ち
- 2 メールシステム
- 3 テレビ会議 GPS
- 4 質疑応答

① 差別化/ターゲット

的確な見積もりを行い、顧客の満足度を高める。

見積もりに関するソフトウェアを特別に作成。エクセルなどではなく、これにワークフローもくみこんでデータを蓄積していき、いつでも過去の見積もりなどがわかるようになっている。これにより業務の効率化、利益率などが明確にわかるようになっている。ペーパーレスも実現でき、実際、現在、オフィスには顧客との契約書以外の紙はない状態。その他の書類はすべてPDFに吸い込んで（ネットワークスキャナーが大活躍しており、これなしには仕事はできない）データで保存。（3年間で50枚以下のコピー機使用のみだったので、オフィスにはもうコピー機はない。）

② スピードと品質

自分だけができる・わかればよい、というのではなく、情報を共有し履歴の管理などをおして最高品質のサービスを目指す。顧客満足度のリサーチ。

③ 社員教育

現在、19名の社員がいるが、マネジメント陣5名のノウハウをどのように社員に伝えていくか。これが現在の大きな課題であり、非常に大切なポイント。

④ 情報共有

メールサーバーにファイルをおき、ファイルのネーミングは社内で統一化する。（例；YYYYMMDD Supplier）これにより、誰でも簡単にサーバーからそのファイルを探すことが出来る。

名刺はスキャンして全部データで保存されている。これにより誰でも自由に、誰の名刺も見ることが出来る。→クリスマスカードなどを送付するときもこのまま使うことが出来る。

⑤ 電信メール

電子メールはもともとはがきと同様で誰でも読めるもの。(封筒にはいった手紙の方が安全) 届けばよいというもの。

プロバイダを指定されている場合、出張中に別のプロバイダ経由で送付したメールが届かないということがよくおこる。

電源が切られていないPC (ネットにつながっている場合) は外からいつでも攻撃されうる状態にある。(→自分で気が付かないうちに自分でスパムメールを発信しているということなどもおこりえる。)

⑥ 暗号化

ベリサイン

送信されるメールに自分が出したというような証明がついているので、その他の方がそれを見たり、自分の名前で他の人がいたずらをするということを防ぐことが出来るようになる。(料金目安：20ドル x 個数)

⑦ パスワード解読の話

キャッシュカードは3回で解読。Windowsなどのログオンは通常3回でロックするよう推奨されている。

パスワード解読ツールがあれば誰でもできる。4桁解読は1秒以下。

⑧ ラップトップPCを守る

BIOSのパスワード

HDDの暗号化

USBキーによるWindowsへのログオン

WebサイトのIDとパスワードをUSBキーへ保管

最近の動向： ハードディスクを搭載しないPCが登場； エンジニアがPCなしでお客様宅へ訪問

⑨ IPSecによるインターネットVPNの普及

ブロードバンドの低価格化

専用線から乗り換えるケースも増えている

インターネットVPNがメインで専用線がバックアップというケースもある

⑩ SSL-VPN

クライアントソフトの導入が不要

ユーザサポートの軽減

HTTPSが利用可能な環境であれば接続可能

豊富なアプリケーション対応

⑪ テレビ会議システム

1990年ぐらいに登場 しかし、非常に高額だった。

2003年以降は成熟期に入り、価格も75万～150万円ぐらいまで落ちてきた。

⑫ GPS (ナビゲーター)

精度は10-20M以内、実際には5 Mぐらいと使い勝手がよくなっている。